

(資料提供)

月 日(曜日)	担当館名	電話	担当者
5月14日(木)	県立近代美術館 文化の森企画広報室	電話 088-668-1088 ファクシミリ 088-668-7198	企画交流室 森 学芸調査課 安達、吉川

開館 25 周年記念「所蔵作品展 2015」 「特集 徳島ゆかりの美術」の開催について

1. 趣旨

所蔵作品展は、当館のコレクションを紹介する展覧会です。今年度は、開館 25 周年記念と銘打って、1 年間を通じて特別編成で所蔵作品をご紹介します。

所蔵作品展 2015 (4/11～7/26) では、会期中に特集コーナーを 3 回設けますが、今回の「特集 徳島の美術」はその 2 回目となります。

今回の資料提供では、「特集 徳島ゆかりの美術」の会期 (5/19～6/21) の展示について、特集コーナー以外の内容を含めてご案内します。

2. 会期 平成 27 年 5 月 19 日 [火] ～6 月 21 日 [日]

3. 会場 徳島県立近代美術館

4. 開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時

5. 休館日 月曜日

6. 観覧料 一般 200 円(160 円)
高校生・大学生 100 円(80 円)
小学生・中学生 50 円(40 円)
高齢者(65 歳以上)、障がい者とその介助者 1 名は無料
※ ()内は 20 名以上の団体料金です。
・小学生、中学生、高校生は、土・日・祝日、振替休日は、無料となります。
・大学生、一般は、祝日、振替休日は無料となります。

7. 内容

【特集 徳島ゆかりの美術】

会場：展示室 1

出品点数：24 点 (16 作家)

内容：「徳島ゆかりの美術」は、徳島県の美術館として、収集や展示、研究等に力を入れている分野です。この特集展示では、本県出身の代表的作家の作品、徳島の風景が表された作品をコンパクトにご紹介いたします。

洋画の分野では、明治の守住勇魚 (徳島市出身) からはじまり、水彩画史に名を残した三宅克己 (徳島市出身)、昭和の戦前期から戦後にかけて活躍した伊原宇三郎 (徳島市出身)、石丸一 (小松島市出身)、清原重以知 (阿南市出身) などを展示。

日本画では、大正から昭和前期に画壇の脚光を浴びた広島晃甫 (徳島市出身)、戦後、東京藝術大学教授をつとめた日下八光 (阿南市出身)、現在日展で活躍中の市原義之 (小松島市出身) らを紹介。版画では、初期に木版画の分野でも

業績を残した広島晃甫、日本におけるエッチングのパイオニア高羽敏（徳島市出身）、戦後にモノタイプなどの版表現を追求した一原有徳（阿南市出身）、サンパウロ・ビエンナーレで最高賞を受賞し版画界の重鎮として活躍する吹田文明（阿南市出身）。彫刻では、日展などで活躍した服部仁郎（鳴門市出身）。現代作家として菊畑茂久馬（美波町出身）の大画面の作品も展示します。

近代を代表する日本画家で文化勲章を受章した池田遙邨（岡山県出身）の代表作〈鳴門〉（1949年）を含め、風景画を多く展示いたします。

※ 展示室2の「徳島県立近代美術館名品選」でも県出身作家の山下菊二（三好市生まれ）らの作品を展示。山下については、ロビーで「日曜美術館 時代をえぐる眼 画家 山下菊二」（NHK 2009年9月6日）を上映します。

【小コーナー 美術館が生まれた頃 1990年頃の作品を中心に】

会場：展示室1

出品点数：22点（10作家）

内容： 徳島県立近代美術館が開館したのは25年前、1990年11月3日のことです。このコーナーでは、その時代に発表された作品を紹介します。

海外に目を向けると、東西冷戦が終結を迎え、湾岸戦争が勃発する激動の時代でした。自国に転換期が訪れる以前の歴史をふまえたポーランド出身のマグダレーナ・アバカノヴィッチらの作品を紹介。

日本ではバブル景気が終わりを迎えようとしていた時期にあたります。太郎千恵蔵の高級な子供服を纏った頭部のない像や秋山祐徳太子のブリキの男爵像などこの時代の雰囲気に対する違和感を表した作品を紹介します。

※ 6月8日をはさみ、一部の作品を展示替えいたします。

【徳島県立近代美術館名品選】

会場：展示室2

出品点数：21点（17作家）

内容： ここでは、当館コレクションの3つの柱、「20世紀の人間像」、「徳島ゆかりの美術」、「現代版画」から優品を選びご紹介しています。

「20世紀の人間像」では、20世紀美術を代表するピカソ、クレー、レジェなど海外の作家、椿貞雄、熊谷守一、安井曾太郎のように、日本近代美術史の中で独自の展開を見せた作家の作品をご覧ください。

「徳島ゆかりの美術」は、伊原宇三郎、山下菊二らの作品を展示。

「現代版画」は、シャガール、マチス、長谷川潔、横尾忠則の作品をご紹介します。

※ 6月8日をはさみ、一部の作品を展示替えいたします。

○このほかに、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に12点を展示します。

○展示作品の合計は、51作家による79点となる予定です。

・都合により内容が変更になる場合もあります。

8. 関連事業

【テーマで知る名品 徳島ゆかりのコレクション 25年こぼれ話】

日時：5月31日(日) 午後2時～2時45分

場所：展示会場

講師：学芸員

- 対象 : 一般
内容 : 展示室で実際の作品を見ながら、徳島出身の作家やコレクションにまつわることを分かりやすくお話しします。
料金 : 観覧料が必要です。
申込 : 不要

【広報用画像の提供について】

展覧会の広報用として、次の作品の画像を提供できます。

必要な場合はご連絡ください。

提供方法は、画像データの提供となります。

使用に当たって、作者名、作品名、徳島県立近代美術館所蔵の旨は、必ず表示してください。

- 作者名 広島晃甫
- 作品名 〈夕暮小景〉 当館蔵
- 制作年 1922年
- 技法材料 木版 紙
- 所蔵 徳島県立近代美術館

